# 広報のと
No. 57
2009.11

あのころ僕は
大空にあこがれていた―。

11
平成21年

広報のと　第57号
平成21年11月1日発行
■発行：能登町　■編集：広報情報推進課
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1
☎：0768-62-1000㈹
能登町 URL：http://www.town.noto.ishikawa.jp
E-メール：info@town.noto.lg.jp

## つきづきつれづれ
### ～霜月（しもつき）～

霜月は、
陰暦十一月の異称。
毎日のように霜の降る
季節なので霜月。
むかし養蚕のさかんなころ、
桑畑は霜に枯れて
百舌（モズ）がなき叫んでいた。

能登半島――
旅先を決められましたか
ここには
飛行機の港　空港があり
船の港　漁港があり
車の港　道の駅があり
どこを
拠点とえらばれますか
どこにも
能登人がおまちしています

「鈍」と思われるかもしれませんが
金に重きをおいていないだけで
赤い糸で心と心を結びたい
「純」なのです

ここのすべてが
じぶんのすべてと
育ってきたのです

吾々の大先輩である古代人が
営みをしていたという
能登半島――

一柊

奥能登に抒情書家ありアトリエを五友宿（ごゆうじゅく）という

**室谷一柊・朱琴・文音**

平成18年、京都府美山町から能登町大箱に移住した抒情書家。遠島山公園「ハーモニーセンター」物語の第2章となる秋展を11月11日㈬まで開催中。開館時間は午前10時から午後6時。

「広報のと」11月号の印刷費は一部当たり22円です。

PRINTED WITH SOY INK

特集

# 空

～大場辰男物語～

秋吉公民館に、大正、昭和、平成と受け継がれてきた一枚の絵がある。作者は恋路の洋画家坂寛二氏（坂坦道氏の父）。その絵には、恋路海岸の上空を飛ぶ飛行機の機影が小さく描かれている。

平成10年10月、一人の古老がこの絵について語った。奥能登初のパイロット、大場辰男氏の郷土訪問飛行。その一幕を伝える大切な絵だということを―。



特集 空

# 空の先駆者

「飛行士になりたい―」。大空にあこがれ、航空雑誌を愛読していた大場辰男氏は、苦学の末に夢を実現。奥能登初のパイロットが誕生した。

大場辰男氏は、明治37年3月13日に珠洲郡木郎村字秋吉（現能登町字秋吉）に生まれた。決して恵まれた家庭ではなく、母親が17歳、父親が19歳の時に亡くなった。辰男氏の最大の理解者であった兄康太郎氏は、訪問飛行前日の新聞インタビューで次のように振り返っている。

「弟は小学校時代から飛行家を熟望していたもので、わずかな収入から航空機に関する書籍雑誌を取り寄せ、仕事の暇を盗んで熟読し、併せて英語の方もやっていました」

16歳で秋吉出身の実業家背戸栄吉氏を頼って上京。牛乳配達をしながら勉学に励んだという。「苦学のうちに、最初の目的をあくまで断念せず、その後関東大震災で一時帰省していましたが、半日は家の手助け、半日は勉強という訳で、早朝から体育の訓練に努めるなど、航空隊の入隊試験準備に熱中し、時々村の人を驚かすありさまでした（康太郎氏）」。

大正12年11月、2回目の航空隊入学試験受験のため、再び上京。「今度失敗したら英語の通訳になる」と康太郎氏に話して出発したという。辰男氏は、狭き門を見事に突破。奥能登初のパイロットが誕生した。

「空はなんと寒いんだろう」

初めて乗った飛行機で辰男氏はこう思ったという。

その後海軍を除隊し、安藤飛行機研究所の操縦教官となった辰男氏は大正14年10月、関西水上飛行大会で2等となり、郷土訪問飛行を熱望する。

郡役所の知人を通じて地元の協力を依頼すると、地元は大歓迎の意向を示した。こうして石川県人初となる郷土訪問飛行が実現することになった。

航空隊入隊当時の大場辰男氏＝当時の新聞記事から

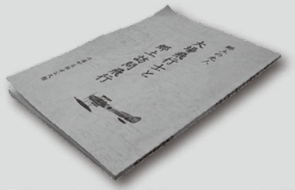
秋吉尋常小学校新築当時（大正14年）から、秋吉公民館へと84年もの年月を飾り継がれた一枚の絵。この絵をめぐる会話から、大場飛行士の偉業を後世に残そうと、世代間交流学級が生まれました。

仲間がそれぞれに項目を掲げて調べを進め、一年を費やして編集した資料が「郷土の先人　大場飛行士と郷土訪問飛行」です。

資料編集の最大のよりどころは、当時の新聞報道でした。大場飛行士の同級生である故坂本新左エ門氏が親友の活躍を告げる新聞紙をスクラップブックにして大切に収集・保存されていたのです。

また、当時小学生で実際に飛来する飛行機を目の当たりにした皆さんからも思い出話を伺いました。

編集を通して、わが公民館下に生まれた青年の偉業が、絵でしか飛行機を知らない当時の人々にとっては驚きの一言に尽きることであり、現代の宇宙飛行に匹敵する、すばらしい快挙であったと感じていました。



『郷土の先人　大場飛行士と郷土訪問飛行』平成12年3月1日町立秋吉公民館発行／世代間交流学生編集

秋吉公民館世代間交流学級
学級長　背戸　清さん（秋吉）

11月18日、松波海岸着水地で秋吉地区の皆さんと記念撮影。この写真は秋吉全世帯に配布された。後ろには、搭乗機の機体や2枚の主翼が確認できる。

# 錦を飾った訪問飛行

特集 空

**大正14年11月17日、大場辰男飛行士は、郷土訪問飛行を決行した。石川県航空史にその名を刻んだ郷土訪問飛行をたどる。**

## 飛行機が来るぞ

「天気晴朗ぜひたて」

大正14年11月17日未明、安藤飛行場（愛知県）の大場氏あてに電報が発せられた。

この電文に対し、安藤飛行場から「大場君は午前8時5分にたった。名古屋密雲深し」という電報が入る。この電文に郡当局と飯田町は歓喜にあふれた。

「飛行機が来るぞ、大場が来るぞ」

着水予定地の飯田桟橋付近には数万の群衆が殺到し、新しい情報を心待ちにしていた。

「大場氏大聖寺通過」

午前10時10分に報告された情報に、群衆の歓迎気分はますます高まった。

## 秋吉上空で旋回

大場氏の古里秋吉では、老若男女が集まり、「バンザイ大場」とムシロ文字を作って郷土の英雄を待ちわびていた。

そこに、河ヶ谷方面から「爆音」が聞こえてきた。大場機は、真っ先に先祖が眠る墓の上空を旋回し、群衆が待つ大畠の上空では特に低空飛行で2回、3回と旋回した。群衆は手旗を振り「バンザイ、バンザイ」と連呼して大場氏に声援を送った。

## 郡をあげての歓迎

午前11時30分、飛行機は見附島上空から着水予定地の飯田町に迫った。そして、飯田町上空で大きく旋回し、熱狂する群衆の「バンザイ、バンザイ」という歓呼の中、鮮やかに着水した。

大場氏は元気旺盛で、「バンザイ」を浴びながら陸上の人となった。

午後1時からは、格納庫で歓迎会が行われた。会場では、500人余りの出席者が一斉に杯をあげて成功を祝い、数万の観衆は、歓迎会場と機体の周囲を埋め尽くしていた。

「熱烈なる歓迎を賜ったご厚意にはただ感謝のほかはない。（中略）機上から見た宝立村の山々は高く、屹立して見えました」。大場氏は、安藤飛行場から飯田町までの全行程235マイル（約378㌔）の難航路を複葉横廠式水上飛行機で一気に制覇した。

## 古里木郎村へ

翌18日午前、飯田町の森下旅館で一夜を明かした大場氏は、長坂機関士と共に機体の点検を終え、松波へ向けて離水した。飯田町上空では20㍍の低空で旋回。機上からビラを散布し、蛸島から三崎方面に向かった。

大場機は、若山、宝立、木郎、小木の上空を経て、午前10時に松波海岸に着水した。

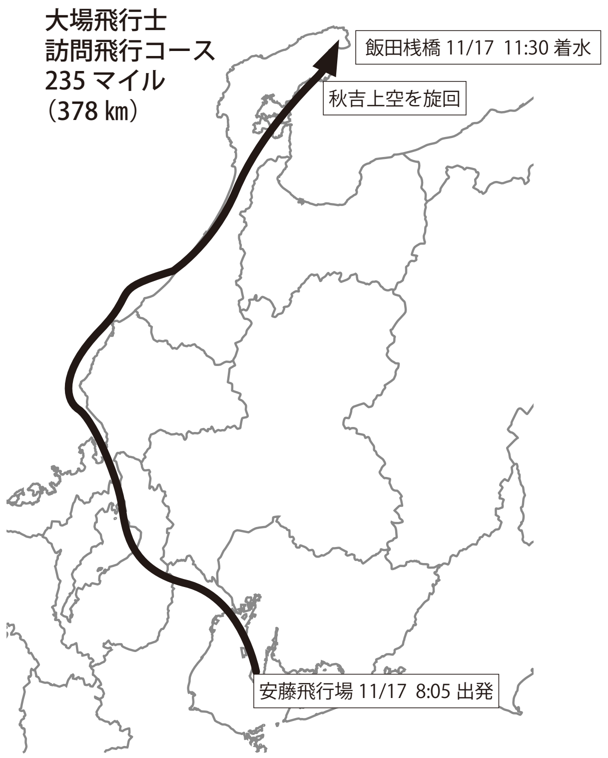
「バンザイ、バンザイ」

松波海岸に集まった4千人以上の観客は、歓喜と感激の頂点に達していた。

歓迎会は400人余りが出席し盛大に催された。歓迎会では、郷土に錦を飾った大場飛行士に心からの「バンザイ」を三唱したという。

大場氏はこの日秋吉に入り、秋吉尋常小学校で地元の人から歓迎を受け、自宅に帰って一泊した。

飯田桟橋で花束を受け取る大場飛行士（左）＝当時の新聞記事から




## 各地を巡り無事帰還

19日、3千人が迎える飯田町に再び着水し、七尾へ向かった。

翌20日は天候不良のため、七尾で講演会を行い、21日に河北潟へ。粟崎遊園地で長石川県知事らから大歓迎を受けた。

郷土訪問飛行最終日となった22日、金沢市上空で大きく円を描いて低空飛行を行い、ビラを散布。そのまま日本海海岸線をたどって琵琶湖を横断し、安藤飛行場へ帰還した。

石川県航空史に大きな1㌻を刻んだ大場飛行士の郷土訪問飛行は、大成功で終わった。

機上からまかれたビラ

## 大場辰男氏のあゆみ

| | |
|---|---|
| 明治37 | 3月13日、珠洲郡木郎村字秋吉（現能登町字秋吉）に大場家二男として生まれる。（父：熊蔵、母：ると） |
| 大正5 | 秋吉尋常小学校卒業 |
| 大正8 | 松波尋常高等小学校卒業 |
| 大正9 | 専修商業学校（東京都神田）夜間部入学 |
| 大正10 | 航空隊入学試験受験（失敗） |
| 大正12 | 関東大震災で帰郷 |
| 大正13 | 航空隊入学試験合格<br>1月、第二回航空局依託練習生として横須賀追浜海軍航空隊に入隊<br>5月、特待生となる<br>海軍大演習に参加<br>9月、二等飛行機操縦士合格。横須賀航空隊依託練習生卒業。海軍三等兵曹　海軍二等飛行機操縦士に |
| 大正14 | 海軍除隊、安藤孝三飛行機研究所の操縦教官に<br>10月4日、帝国飛行協会主催の関西水上飛行大会に出場、二等に入賞し、賞金2500円を得る（当時家一軒が約800円）<br>11月8日、秋吉の坂本新左エ門宅で二等入賞祝賀会。郷土訪問飛行を決意し郡役所に地元の協力を依頼<br>11月17日、郷土訪問飛行<br>機種：複葉横廠式ロ号甲型イスパノ・スイザ200馬力水上偵察機<br>8：05安藤飛行場（新舞子）を出発<br>11：30秋吉上空を旋回後、飯田桟橋近くの水面に着水<br>11月18日<br>9：00飯田海岸を離水<br>10：00松波海岸へ着水<br>11月19日<br>9：00松波海岸を離水<br>14：00飯田海岸を離水<br>14：46七尾港に着水<br>11月20日、豪雨で飛行中止<br>10：00七尾女児校で講演<br>11月21日午前、七尾上空でビラ6万枚を散布<br>12：15七尾港を出発<br>12：55河北潟に着水<br>11月22日<br>9：00河北潟を離水<br>金沢上空でビラを散布し、帰還飛行へ<br>11：00安藤飛行場着陸 |
| 大正15 | 9月、名古屋―新宮（和歌山県）間の試験的定期航空（郵便飛行）の機長に<br>10月、一等飛行機操縦士に昇格 |
| 昭和5 | 航空免状（第36号）交付 |
| 昭和21 | 秋、安藤飛行機研究所退所<br>秋吉に帰郷 |
| 昭和47 | 第2回内浦町条例表彰 |
| 昭和48 | ㈳松寿園（小松市）に入園 |
| 平成10 | 10月26日、94歳の生涯を閉じる |

# 大場飛行士の功績を郷土の誇りとして残したい。

大場飛行士を秋吉で迎えた

## 前田利雄さん（90歳・秋吉）

大場飛行士を乗せた飛行機は、河ケ谷の方から秋吉に向かって飛んできました。当時わたしは小学1年。誰も飛行機を見たことがない時代でした。はじごを組んだような形で「あれが飛行機か。あんなものでよく飛んできたな」と思っていました。

飛行機は、まず両親が眠るお墓の上空で三回ほど旋回してからこちらに向かってきました。はざや火の見やぐらにぶつかるのではないかと心配するくらいの低空飛行で、耳をつんざくほどの大きな音でした。

飛行機が近づくと、手を振っている大場さんがはっきりと見えました。みんなは歓喜して「バンザイ、バンザイ」と日の丸の旗を振り、声援を送りました。

当時、辺り一帯は麦畑でした。秋吉尚武会（青年団）の皆さんが、麦畑にムシロで「バンザイ大場」と大きな文字を作り、はざにはキリコの天幕や太鼓幕を広げていました。

大場さんは、飛行機から5色のビラをまきました。子どもたちは、飛び回ってそのビラを拾い集めていました。

### 前代未聞の郷土訪問

大場さんは、貧しい家庭に育ち、非常に苦学をしていました。松波尋常高等小学校のころから大空に対するあこがれを持ち、大きな夢と希望を抱いて上京されたのです。そして、独学で航空隊入学試験に挑戦し、2回目で狭き門に合格しました。

奥能登初の飛行士となった大場さんは、関西水上飛行大会で2等となり、賞金2500円を手にしました。家一軒の建設費用が800円の時代です。大場さんはその賞金で飛行機と整備士を借り上げ、郷土訪問飛行を実現させたのです。

秋吉だけではなく、木郎村、珠洲郡、石川県をあげての歓迎でした。当時はまだ子どもでよく分からないこともありましたが、今思うと本当に前代未聞のことを成し遂げた人だったと誇りに思います。

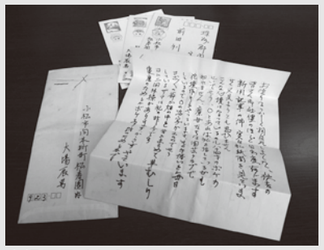
終戦後、大場さんは秋吉に戻り、農業にいそしんでいました。先見の明があり、肥料設計や苗代づくりなど、いろいろ教えてもらいました。ラジオや時計が壊れると直してもらったり、大工仕事も上手でした。

特に花が好きで、次々と新しい品種を栽培していました。大場さんからスイートピーを初めて見せてもらったことはいまだに覚えています。

小松市の施設に入ってからも年賀状や手紙のやりとりをしていましたが、毎日花作りを楽しんでいたようです。

### 郷土の誇りとして

わたしの夢は、秋吉に「郷土訪問飛行　大場飛行士生誕の地」という記念碑を作ることです。大場さんの功績を、郷土の誇りとして後世に伝えるために、町や地域の人の協力をお願いしたいと思っています。



大場辰男氏から前田さんに送られた手紙や年賀状



特集 空

# 郷土の英雄を語り継ぎ地域活性化につなげる秋吉公民館

大場飛行士をしのんで、毎年行われている紙飛行機大会＝平成16年のさくら祭りで

秋吉公民館は秋吉、河ケ谷、清真、九里川尻地域の公民館。各種教室やイベントが毎日のように開催され、たくさんの人が訪れている。

「この地域は公民館活動が非常に盛んです。地域の皆さんも積極的に行事に参加してくれたり、惜しみない協力をしてくれるので、本当に感謝しています」と話す公民館長の竹中省三さん（72歳）＝秋吉＝は、本年8月から秋吉公民館長を務めている。

竹中さんは世代間交流学級生でもあり、大場飛行士の資料制作にも携わってきた。それだけに、大場飛行士の功績をしっかりと後世に伝えていきたいという思いは強い。

## 紙飛行機大会をたくさんの人が集まる大きなイベントに育てたい。

秋吉公民館長
竹中省三さん（秋吉）

### 地域全体で盛り上げていきたい

「わたしが公民館長になってやりたいと思ったことが、大場飛行士のことです。資料を作ってから10年近く経過し、最近は大場飛行士を知らない子どもたちも増えてきました。まずは郷土訪問飛行の写真や解説などを大きなパネルにして、公民館を訪れる小学生に分かりやすく伝えられればと思っています。パネル制作は、できるだけ多くの人にかかわってもらうなど、地域全体で盛り上げていきたいと考えています」

秋吉公民館は、平成12年の資料制作後、毎年大場飛行士をしのんで紙飛行機大会を開催したり、子ども向けの紙芝居を作って披露したりと、大場飛行士の郷土訪問飛行を語り継ぐ活動を展開してきた。

「特に紙飛行機大会は、この地域の子どもたちだけではなく、もっと多くの人に参加してもらえる大会にしたいと考えています。町の協力も必要になるかもしれませんが、大場飛行士はこの町の誇りです。もっとたくさんの人に関心を持ってもらえるよう、みんなで知恵を出し合いたいと思っています」

# 7年目の能登空港

大場飛行士の郷土訪問飛行から84年。今では1日4回、旅客機が能登の上空を飛んでいる。「能登に空港を―」。その夢は現実となって、首都圏と能登半島を1時間で結ぶようになった。
7年目を迎えた能登空港の現状を、石川県空港企画課に聞いた。

石川県空港企画課
山崎 悦朗 課長補佐

―**全国の地方空港の現況は。**

**山崎**　長引く景気低迷や新型インフルエンザ、高速道路料金の割り引きなどにより、全国的に航空機利用者が減少していると聞いています。

　どれくらいの搭乗率があると航空会社の採算が採れるのかは、ビジネス客や団体の観光客などの客質によって異なるので一概に何パーセントと言えないそうですが、航空会社は不採算路線の減便・撤退などの経営改善に取り組んでおり、地方空港にとって大変厳しい状況となっていると言えます。

―**能登空港の6年目を分析すると。**

**山崎**　能登空港の開港6年目、つまり昨年の7月7日から今年の7月6日までの利用状況ですが、4月ごろまでは利用者の約8割を占める首都圏からの観光客が順調に増加したことから、地元利用者の減少分を補いほぼ前年並みでした。しかし、新型インフルエンザの影響で、5月ごろから首都圏からの利用者が急激に減少したため、一時は目標搭乗率の達成に赤信号が灯りそうになりました。地元の多くの方々に利用していただいたおかげで、何とか62％を達成することが出来ました。

　地元の方々の何が何でも目標搭乗率を達成しようという熱い思いを再認識しました。

　7年目に入っても、まだまだ航空需要は厳しい状況が続いています。これまで以上の観光誘客と地元からの利用促進に、早め早めに取り組んでいく必要があると考えており、毎月、地元の行政や経済団体の方々といろいろなアイデアを出し合って利用促進に取り組んでいます。

―**運航ダイヤ改善の可能性は。**

**山崎**　運航ダイヤについては、午前便は早く、午後便は遅くすると、地元からの利便性が格段に高まるので、利用促進につながると考えられますが、改善にあたっては首都圏からの利便性にも配慮する必要があります。

　首都圏の旅行会社からは、前後に1時間程度ならば影響は少ないと聞いており、県としてもANAに対して運航ダイヤの改善を要望しています。しかし、ちょうど良い時間帯は、どこの地方空港も利用を望んでおり羽田空港の発着枠が満杯の状態であることから、検討させてほしいとしています。

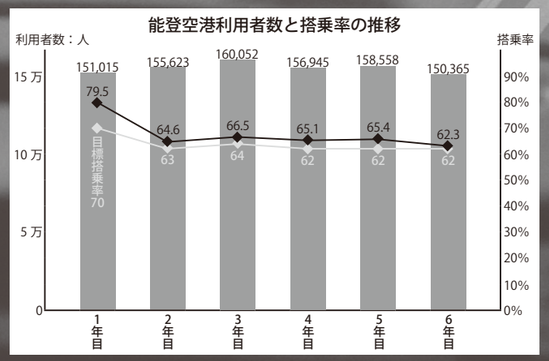
　来年秋の羽田空港再拡張という機会を捉えて、ダイヤ改善につなげていくためには、引き続き目標搭乗率を上回る高い搭乗率を維持していくことが大切と考えています。

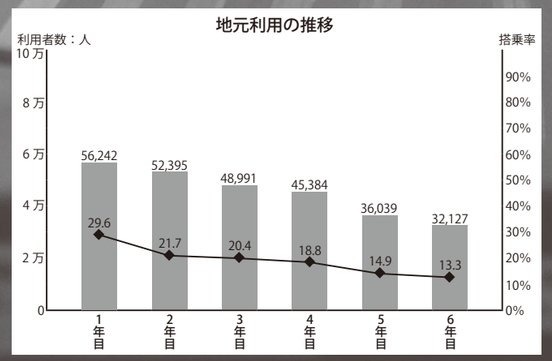
―**能登空港を守るためには。**

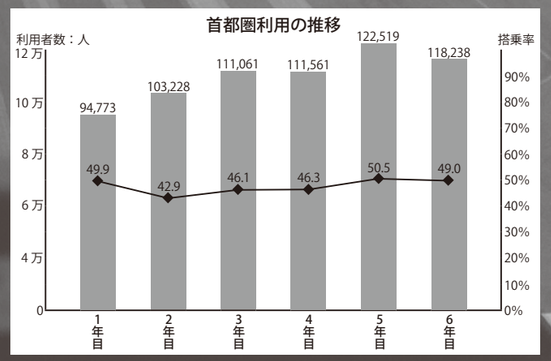
**山崎**　能登空港は、単なる航空機の発着施設というだけではなく、行政との合築や「道の駅」への登録、航空学園や海上保安庁施設の誘致など多目的に活用しています。

　また、地元住民に能登空港を身近に感じてもらえるように、ターミナルビル内で市町が持ち回りで自分の市町のPRをしたり、空港周辺で各種団体がイベントなどを開催しています。

　このような取り組みによって、『能登空港は自分たちの空港』という意識が醸成され、航空機利用につながっていくことを期待しています。




国際チャーター便利用状況

| 年度 | 便数（片道） | 行き先 | 利用者数 |
|---|---|---|---|
| 15 | 8 | 韓国、台湾 | 1,035人 |
| 16 | 76 | 台湾、中国 | 8,920人 |
| 17 | 116 | 台湾、中国 | 12,148人 |
| 18 | 65 | 台湾、韓国 | 7,850人 |
| 19 | 105 | 台湾、中国（香港） | 12,468人 |
| 20 | 90 | 台湾 | 11,999人 |

全日本空輸㈱　ボーイング 777 機長

# 谷内幸夫さん（柳田出身）

*Yachi Yukio*

—Vol.41—

## 夢を持つことが、自分の能力を発揮する原動力になる—。

**PROFILE**

【やち・ゆきお】
柳田中学校時代にパイロットを夢見る。宇出津高校、東海大学工学部を経て、航空大学校（宮崎県）に入学。平成元年 12 月、全日本空輸㈱にパイロットとして入社し、平成 11 年からボーイング 777 機長。現在は後進たちを育成する機長昇格訓練も担当する。東京都江東区在住、46 歳。

小5の時、宇出津の書店で偶然手に取った本が「パイロットになるには」という本でした。しかし、パイロットになりたいと真剣に考えたのは中2のころです。パイロットが主役のテレビドラマ「虹のエアポート」を見てから、その本を読み返したことがきっかけでした。

順調にパイロットになれたわけではありません。当時パイロットになるには、高校を卒業して国立の航大（航空大学校＝宮崎県）に入るしかありませんでしたが、受験には21歳未満までという年齢制限がありました。高校3年からチャンスは3回ありました。しかし3回のチャレンジはすべて不合格でした。この時点でパイロットへの道は閉ざされ、普通の大学に進学しました。

大学に入ってもパイロットになりたいという夢はずっと心の中にありました。再び道が開けたのは大学4年の時です。その年の夏に航大の受験資格が変更され、もう一回だけ受験できるようになりました。最後のチャンス。今まで以上にがむしゃらに勉強しました。

ひたすら努力してつかんだ合格でした。わたしはこの時に「努力をすれば運がついてくる」ということを実感しました。運がいいと思われている人は、必ずどこかで努力をしているんだということがこの時分かったんです。

航大に入っても安心することはできませんでした。パイロットの適性がないと判断されればすぐに退学になるからです。

わたしの同期生には、会社員や学校の先生をしながら挑戦して合格した人もいました。みんな夢をあきらめなかった者ばかりです。

当時の航大の訓練はスパルタ式でした。本当に厳しかったですが、最後につかんだチャンスを逃したくないと、仲間と一緒に必死になって勉強と訓練に耐え抜きました。

航大の訓練は2年4カ月ありました。34人いた同期生は卒業するときには26人になっていました。

航大を卒業しても就職が厳しくパイロットになれない時代もありましたが、わたしは全日空（全日本空輸株式会社）にパイロットとして採用されました。

パイロットは何百人というお客様の命を預かる特殊な仕事です。資格や試験に関しても非常に厳しく、入社してからも訓練は続きました。

機長となった今でも、技能検査を2回と身体検査を毎年受けます。一度でも落ちると次の日からパイロットではなくなるという厳しい世界です。それでも「空を飛び続けたい」という夢を持ち続けているからこそ、今の自分があるのだと思っています。

夢を持って生きている人と、そうでない人では人生に違いが出ます。

今夢を持っている小学生、中学生は、夢の実現のために努力してください。まだ夢を持っていない人も、ちょっとしたきっかけで見つかります。そのときのために、幅広い教養を身につけておく必要があります。

夢に向かって努力しても、壁にぶつかり、挫折することがあるかもしれません。しかしその経験は、必ず自分の人生の糧になり、苦労は心のぜい肉を落としてくれます。

夢を持つということは、自分の能力を100㌫以上発揮する原動力になります。

夢を持って努力した人だけが、自分の限界を超えることができるのだと思っています。

ボーイング 777-200（写真提供：全日本空輸㈱）

10月

# まちの出来事

## 戦没者追悼式・慰霊祭
## 戦争を振り返り平和を誓い合う

能登町戦没者追悼式と、遺族連合会が主催する慰霊祭が10月9日、内浦第2体育館で行われ、遺族や関係者など約250人が出席しました。

日清戦争以来、戦争で亡くなった1455柱の霊を慰める追悼式。持木町長は「今日の繁栄の影に、尊い犠牲があったことを忘れず、次の世代に語り継いでいきます」と式辞を述べました。

追悼式のあとに行われた慰霊祭は神式で行われ、宮司らのもとで厳粛に神事が執り行われました。遺族連合会の益田英治会長は「今後も町の発展に貢献していきたい」と話していました。

玉ぐしをささげる遺族連合会の皆さん

アナウンサーらしく、軽快な口調で話をする横田さん

## 能登町社会福祉大会
## 誰もが安心して暮らせるまちに

第1回能登町社会福祉大会が、10月6日に能都庁舎で行われ、民生児童委員や社会福祉施設関係者など約200人が地域福祉の増進に決意を新たにしました。

式辞のあとに行われた町社会福祉協議会長表彰式では、功績のあった10人と2団体に表彰が贈られました。受賞者を代表して、多花楽会の形屋正義さんが「地域福祉に貢献できることを励みに、誠心誠意勤めていきたい」とあいさつ。大会宣言の朗読のあとは、フリーキャスターの横田幸子さんが「絆(きずな)の結びなおし」と題して記念講演を行いました。

## 白丸曳山祭り
## 曳山に豊作の願いを込めて

菅原神社の秋祭り、白丸曳山祭りが9月25日に行われました。お祓いを受け神社を出発した2基の曳山は、大きなかけ声を響かせる担ぎ手と共に街中を練り歩きます。この曳山祭りは、化粧をして着飾った男の子が唄い、踊る「きやらげ」も見所の1つです。

この日は、北陸大学の中国人留学生10人も祭りに参加。法被を身にまとい、力強く曳山を引くなどして町の文化に触れました。

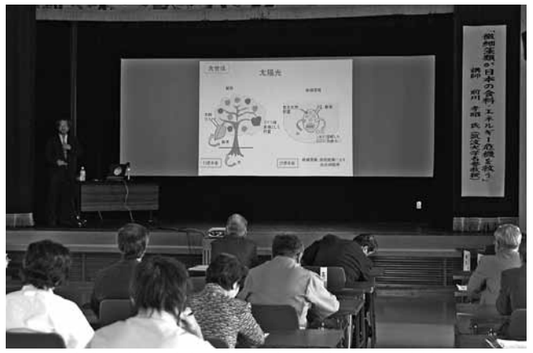
▲中国人留学生が「きやらげ」を唄う子どもたちをはやしたてる。子どもたちは神の使いとされ、家々の移動の際もおんぶされ、地面に足をつけない。

◀曳山の方向転換に力がはいる担ぎ手たち

## バイオマスミニ講演会
## 新産業につながるバイオマス

町が策定中の「バイオマスタウン構想」への理解を深めてもらうバイオマスミニ講演会が、10月9日に能都社会福祉会館で行われ、約60人の地域住民などがバイオマスへの理解を深めました。講師の前川孝昭筑波大名誉教授は「微細藻類(びさいそうるい)が日本の食料・エネルギー危機を救う」と題し、太陽光や発光ダイオードなどを使用して藻類を培養し、抽出した藻油などを航空燃料や食品の原料として活用する研究を紹介しました。

前川氏は、廃校プールや耕作放棄地などを培養先として「誰でも燃料を作ることができる新しい産業」だと提案しました。



地球温暖化の防止や地域経済に貢献すると話す前川氏

地元住民とギョーザ作りをする浅井さん(写真左)

## 多文化共生推進事業
## 本場のギョーザで地域と交流

10月1日、県から「多文化共生推進員」に委嘱された中国大連市出身の浅井麗華さん＝桐畑＝が、当目集会所で地域の人たちと本場中国のギョーザづくりを行いました。

同推進員は、町民と在住外国人が共に暮らしやすい地域をつくるため、本年度は奥能登4市町を県のモデル地区として、各市町に2人ずつ配置されています。

この日は巣ヶ前老人クラブが月に1度開く「お楽しみ会」で、地元ボランティアの女性4人と協力して150個のギョーザを作り、集まったお年寄りたちと味わいながら交流を深めました。

## 全国凧あげ能登大会
## 舞いあがれ!能登の風にのり

10月18日、親子児童・全国有名凧・能登ふれあい凧あげの3部門に分かれて柳田植物公園で行われた全国凧あげ能登大会。合併後5回目となったこの大会には、全国各地から凧愛好家など200人が集い、さまざまな形、そして色とりどりに作られた凧をあげて能登の空を彩りました。

午後から行われた能登ふれあい凧あげの部では、町内の凧仲間が自分たちで作り上げた自慢の大凧で競い合います。この日は、能登のきまぐれな風に翻弄(ほんろう)されてなかなか舞いあがりませんでしたが、何度も大空に挑む姿が印象的な大会となりました。

大凧を風にのせ大空へとあげる凧仲間

すばらしい演技を見せる劇団ふるさときゃらばんの団員

## ミュージカル公演
## 消防団の大切さや友情を劇に

町初のミュージカル公演「地震カミナリ火事オヤジ」が9月23日、柳田小学校体育館で上演され、会場を埋めた350人が迫真の演技に魅了されました。上演したのは東京都小金井市に本部を置く「劇団ふるさときゃらばん」で、文化庁の「地域文化芸術振興プラン推進事業」の支援を受け実現しました。

このミュージカルは、災害現場で闘う消防団をテーマにした、涙あり笑いありの感動物語です。酒元法子実行委員長は「多くの皆さんにご観覧いただきとてもうれしい。今後も町の芸術文化の振興にご協力をいただきたい」とあいさつしました。

ニュース　ポスターコンクール

## 能登警察署防犯・交通安全ポスター

町内の小学５・６年生を対象に防犯や交通安全をテーマとしたポスターを募集したところ、134 点の作品が集まりました。入賞者は次の皆さんです。

冨田さん

**【防犯部門】**最優秀賞冨田彩加（宇出津小）優秀賞濱田茉優（同）、藤巻玲奈（同）佳作坂未遥（同）、二又宥斗（同）、平井千夏（鵜川小）

新村さん

**【交通安全部門】**最優秀賞新村真由（小木小）優秀賞池崎駿作（宇出津小）、吉田萌莉（柳田小）佳作川端如菜（松波小）、小谷内優志（真脇小）、中田美歩（柳田小）

お知らせ　消防関係

## 秋の全国火災予防運動を実施します

問能登消防署☎ 62-0492

〈期間〉11 月 9 日㈪～ 11 月 15 日㈰までの 7 日間
〈平成 21 年度全国統一防火標語〉
**「消えるまで　ゆっくり火の元　にらめっ子」**

住宅防火　いのちを守る　７つのポイント
**３つの習慣**
①寝たばこは絶対やめる　②ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する　③ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す
**４つの対策**
①逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する　②寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐため、防炎品を使用する　③火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置する　④お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる
〈パレード〉期間中に能登町一円を消防団車がサイレンを鳴らしながら防火パレードを実施します。皆さんのご協力をお願いします。

税金　11 月の納期

## 国民健康保険税第５期の納期限は11月30日㈪です

問税務課☎ 62-8505

人事　教育委員会教育長

## 新しい教育長に中口憲治氏

（就任のあいさつ）
10 月 1 日に開催された能登町教育委員会において、教育長に任命されました。関係各位のご支援に深く感謝を申し上げます。
少子高齢化の流れの中で、次代を担う子どもたちの育成、生涯学習活動の充実は、町にとって大変重要であると認識しております。
町の財政事情は依然として厳しい状況ではありますが、教育環境や社会教育環境の整備充実を図り、その活動を支援することで、地域住民の皆さまと力を合わせて能登町づくりに努力いたす覚悟であります。皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。
**【なかぐち・けんじ】昭和 51 年 4 月に旧内浦町役場に入庁。旧内浦町住民福祉課長、能登町健康福祉課長、内浦庁舎長などを歴任。字上在住、57 歳。**

ニュース　高齢者自転車大会

## 小正勲さん（内浦シルバーチーム）が個人優勝

9 月 26 日にかほく市で開催された交通安全高齢者自転車大会（県交通安全協会、県警本部共催）の個人の部で、宮犬の小正勲さん（69）が優勝しました。
28 日には、指導員やチーム仲間と能登警察署を訪れ、坂下署長に優勝を報告しました。

ニュース　消防関係

## 柳田分団に新しい消防ポンプ自動車

問能登消防署柳田分署 ☎ 76-0085

老朽化が激しかった柳田分団のポンプ自動車が 8 月 29 日、新車両（CD-1 型・4WD）に更新されました。

新しい車両は、全長 5.8 ㍍、乗車定員 8 人、放水能力毎分 2,610 ㍑、150 馬力、寒冷地仕様、四輪駆動という性能です。





**【能登町役場】**☎62-1000（代）
**能都庁舎**（FAX62-4506）
総務課☎62-8510
企画財政課☎62-8503
監理課☎62-8504
税務課☎62-8505
収納対策室☎62-8506
環境対策課☎62-8507
能都サービス室☎62-8500
ふるさと振興課☎62-8532
海洋深層水対策室☎62-8533
会計課☎62-8509
**柳田庁舎**（FAX76-0039）
広報情報推進課☎76-8301
農林水産課☎76-8302
柳田サービス室☎76-8300
農業委員会☎76-8303
建設課☎76-8304
**内浦庁舎**（FAX72-2108）
町民課☎72-2501
健康福祉課
（児童保育）☎72-2512
（医療介護）☎72-2502
（福祉庶務）☎72-2503
（健康推進）☎72-2504
（包括支援）☎72-2513
内浦サービス室☎72-2500
下水道課☎72-2507
水道課☎72-2508
学校教育課☎72-2509
生涯学習課☎72-2510
**議会庁舎**　議会事務局☎76-8310

お知らせ　町有財産売却

## 町有財産（土地）を申し込み先着順で売却します

問監理課 ☎ 62-8504

〈物件の位置〉
・能登町字姫（上野台地）　13 区画
・能登町字小木（町営住宅跡）　５区画
・能登町字石井（保育所跡地）　２区画
※物件の詳細については、町ホームページまたは監理課までお問い合わせください。

お知らせ　ごみ処理

## ごみの焼却・野焼きは禁止されています

問環境対策課 ☎ 62-8507

「隣の空き地でごみを燃やしていてにおいがする」「焼却炉で燃やしていて煙が迷惑」といった、ごみの野外焼却（野焼き）に関する苦情が多く寄せられます。
ごみを燃やすと、悪臭や煙が家に入ったり洗濯物などについたりといった近隣住民とのトラブルだけでなく、ダイオキシン類などが発生し、人体への影響が心配される場合があります。
家庭や事業所から出たごみの基準外焼却炉等（ドラム缶・ブロック積も含む）を使用しての焼却や野焼きは法律で禁止されています。
定められた処理方法で適正に処理しましょう。

お知らせ　日本年金機構

## 日本年金機構が１月１日からスタート

国民の皆さまの信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指して、社会保険庁は来年 1 月 1 日から「日本年金機構」として生まれ変わります。現在ある社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、引き続き年金相談窓口として利用できます。

ニュース　ユネスコ無形文化遺産

## 「奥能登のあえのこと」が世界無形遺産に

問生涯学習課 ☎ 72-2510

平成 21 年 9 月 30 日、世界に介在する無形文化遺産を、人類共通の遺産として保護することを目的とした「ユネスコ無形文化遺産」に、「奥能登のあえのこと」が登録されました。登録を受けて、奥能登のあえのこと保存会会長の持木一茂町長は「『あえ（もてなし）』の心を大切に、ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを誇りに思い、奥能登全体で協力しあいながら、子々孫々へと伝えていきたい」と話しました。
町は、登録を記念して次のことを行っています。

**●記念懸垂看板掲揚（能都庁舎）**
**●ユネスコ無形文化遺産登録記念展**
〈期日〉12 月 12 日㈯まで
〈場所〉柳田教養文化館

今後は、現状調査や保存活動などを奥能登 4 市町および関係する皆さまと進めていきます。

# 11/7(土)・8(日)

## 第5回能登町民文化祭

**芸術（展示）部門**
会場：能都体育館
日時：7日 9:00 ～ 17:00
8日 9:00 ～ 15:00

**芸能発表**
会場：能都庁舎 4 階ホール
日時：8日 9:00 ～ 16:00 ごろ

**茶道部門**
会場：山村開発センター
（能都体育館隣）
日時：7日：9:30 ～ 15:30

**囲碁部門**
会場：宇出津公民館
日時：7日 9:30 ～

## マイクロバス運行時刻表

（停車は路線バスなどのバス停です）

◆柳田・鵜川コース（会場行き）

| バス停名 | 朝の便 | 昼の便 |
|---|---|---|
| 柳田 | 8:00 | 12:00 |
| 上町公民館前 | 8:05 | 12:05 |
| 中又 | 8:08 | 12:08 |
| 鵜川口 | 8:30 | 12:30 |
| 能都七見 | 8:33 | 12:33 |
| 矢波弁天 | 8:36 | 12:36 |
| 波並駅前 | 8:39 | 12:39 |
| 藤波駅口 | 8:42 | 12:42 |
| 能都庁舎 | 8:45 | 12:45 |
| 能都体育館 | 8:50 | 12:50 |

◆内浦コース（会場行き）

| バス停名 | 朝の便 | 昼の便 |
|---|---|---|
| 内浦庁舎前 | 8:00 | 12:00 |
| 能登上 | 8:05 | 12:05 |
| 能登不動寺 | 8:10 | 12:10 |
| 宮崎 | 8:17 | 12:17 |
| 新村 | 8:20 | 12:20 |
| 能登新保 | 8:24 | 12:24 |
| 九十九湾 | 8:27 | 12:27 |
| 小木港 | 8:30 | 12:30 |
| 縄文真脇温泉口 | 8:35 | 12:35 |
| 本小浦 | 8:40 | 12:40 |
| 羽根漁港 | 8:45 | 12:45 |
| 能都庁舎 | 8:50 | 12:50 |
| 能都体育館 | 8:55 | 12:55 |

◆帰りの便（両コースとも行きと逆回り）
7日(土)
能都体育館発① 11:00　② 15:00
8日(日)
能都体育館発① 11:00　②芸能発表終了後

◆会場相互間の移動（8日のみ）
能都体育館発① 10:00 ② 14:00 →能都庁舎
能都庁舎発① 10:00 ② 14:00 →能都体育館

### 見て、聞いて、体験しよう！
## バイオマス普及イベント

能登町民文化祭の開催に合わせ、バイオマス普及啓発イベントを開催します。

「バイオマスってなに」「なぜ今バイオマスなの」などの基本的な疑問の解消や、バイオマスの利活用促進を目的に、大人から子どもまで楽しめる体験コーナー、展示コーナーなどを出展します。

どなたでも参加でき、わかりやすい内容となっていますので、気軽にお立ち寄りください。

〈日時〉11月8日(日)
午前9時から午後4時
〈場所〉能都庁舎　駐車場特設会場

問ふるさと振興課 ☎62―8532



連載コラム

# ツーリズムのススメ

観光・旅行の新しい形「ツーリズム」について考える12回のシリーズ

### 地域全体で取り組んできたエコツーリズム

全国の中でも、エコツーリズムの事業体が最も多いのは沖縄です。離島によっては50以上もあると言われています。沖縄本島の北部にある人口2千人の東村（宮里藍さんの古里）でも6つあります。パイナップルなどの農業が基幹産業であった東村で東村エコツーリズム協会が設立された平成11年以降、徐々に事業化が進められてきました。その先頭を走ってきたのが島袋徳和さんの経営する「やんばる自然塾」です。

### 雇用創出

島袋徳和さんは、村会議員であり、区長であり、商工会副会長なども兼ねていましたが、1999年の東村エコツーリズム協会の設立にも参加し、自らがその実践者として、花農家をやめて、99年から一人でエコツアーを始めました。最初はお客が来なくて苦労されたようですが、本土のエコツーリズム事業体とタイアップすることでお客が増えて、採算が取れるようになりました。

そして、地元で仕事に就いていない若者を見習いから一人前のガイドに育て上げ、徐々に事業を拡大してきました。今では年間2万人近くの客数になり、常勤スタッフが11人になっています。経験を積んで独立した人や独自に始めた事業体もあり、東村全体で6つになりました。

### 後継者

やんばる自然塾のエコツアーのメインはマングローブをカヌーでめぐるツアーですが、やんばるの森をめぐるツアーも人気です。それぞれ3時間、4時間で6千円の価格設定になっています。

やんばる自然塾は、03年に会社組織になり、数年前から息子さんも事業に従事しているので、島袋さんは対外的な活動にも出掛けられるようになっています。数年前に門前で行われたツーリズム研修会には講師としてお越しいただきました。

### ⑪先進事例に学ぶ「やんばる自然塾」

### 環境保全の仕組み

環境保全を促進するために、04年から環境協力金を設定し、現在は200円が参加費に含まれています。プールしたものを地元の地区に提供し、マングローブの森の保全活動などに生かしています。

やんばる自然塾の歴史やエコツアーの詳しい内容については、ホームページ http://www.gesashi.com/ をご覧ください。

マングローブをカヌーで巡るエコツアー

## 【入札結果】
**9月16日～10月15日**

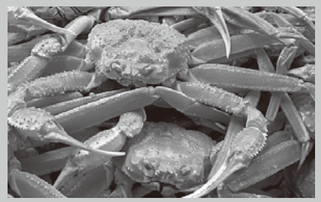
広報紙では、契約金額が500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。　問監理課☎62-8504

| 件　名 | 場所 | 担当課 | 契約額(税込) | 落札者 |
|---|---|---|---|---|
| 町道宇出津10号線　舗装工事 | 宇出津 | 建設課 | 27,720,000 | 北川ヒューテック㈱ |
| 屋内テニスコート（ウエーブのと）整備工事 | 藤波 | 生涯学習課 | 23,205,000 | 丸建道路㈱ |
| 健民テニスコート（16面）整備工事 | 藤波 | 生涯学習課 | 17,850,000 | 北川ヒューテック㈱ |
| 柳田地区簡易水道再編推進事業<br>配水管布設工事（百万脇地内）2工区 | 柳田 | 水道課 | 11,655,000 | 北能産業㈱ |
| 瑞穂地区給水区域内無水源地域簡易水道事業<br>本木配水管布設工事 | 本木 | 水道課 | 16,590,000 | 山本鉄工所 |
| 能登町役場内浦庁舎改修工事 | 松波 | 健康福祉課 | 22,785,000 | ㈱西中建設 |
| 能登町立鵜川中学校　耐震補強改修実施設計業務委託 | 鵜川 | 学校教育課 | 5,355,000 | ㈱T．O．N．E |
| 矢波浄水場薬品注入設備改修工事（機械・電気工事） | 矢波 | 水道課 | 18,900,000 | ㈱柿本商会 |
| 石井・国光工区　用水路整備工事 | 石井・国光 | 農林水産課 | 5,145,000 | ㈲干場重機建設 |
| 林道赤畑線開設工事 | 当目 | 農林水産課 | 16,065,000 | ㈲渡瀬建設 |
| 道路1号線照明灯設置工事 | 宇出津 | 建設課 | 5,160,750 | 北陸電気工事㈱　能登営業所 |

# 遊々能登 EnjoyNoto
奥能登イベント情報

能登町からは「鵜川のイドリ祭り」を紹介。

**輪島市**



**○輪島かにまつり～2009～**
**〈日時〉**11月15日㈰9:00～14:00
**〈会場〉**輪島市マリンタウン特設会場
**〈内容〉**輪島港で水揚げしたカニをその場で浜茹でして即売。カニ汁、カニ飯、炭火焼コーナーなどカニづくしの会場に、ぜひお越しください。問実行委員会☎0768-22-1485

**珠洲市**

**○珠洲焼資料館**
**〈開館日〉**年末年始を除く毎日
**〈開館時間〉**9:00～17:00
珠洲ビーチホテルの横にある珠洲焼資料館では、能登の輝ける時代を支えたやきものの歴史をたどることができます。入館料は一般310円、小学生から高校生は150円。
問市立珠洲焼資料館☎82-6200

**穴水町**

**○復興市**
**〈日時〉**11月14日㈯9:00～14:00
**〈場所〉**穴水商店街駐車場
穴水町で採れた野菜や商店街からの出店で賑わいます。今年最後の市となりますので、どうぞお越しください。

# 図書館へおいでよ

中央図書館（宇出津公民館内）☎62－3458

今月のオススメ！

**半島へ、ふたたび**
■蓮池薫
新潮ドキュメント賞受賞作品。初めて訪れたソウル。初めて明かす、北朝鮮、拉致への思い。

**日本人の知らない日本語**
■蛇蔵＆海野凪子
日本語学習が楽しく身につく、65万部突破の大ベストセラー。

## 11月の新刊案内

**獣の奏者（探求編）（完結編）**　上橋菜穂子
**新参者**　東野圭吾
**ダブル・ジョーカー**　柳広司
**子連れ侍平十郎 俺も武士**　鳥羽亮
**殺気**　雫井脩介
**道誉と正成**　安部龍太郎

## 行事あんない

■おはなし会　14日㈯・18日㈬14:30
■おはなし学習会　11日㈬19:30
■おはなし勉強会　15日㈰13:30
■読書会　25日㈬13:30
〈開館時間〉水～日曜日9:00～17:00
〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日、月末（図書整理日）

## 児童館だより

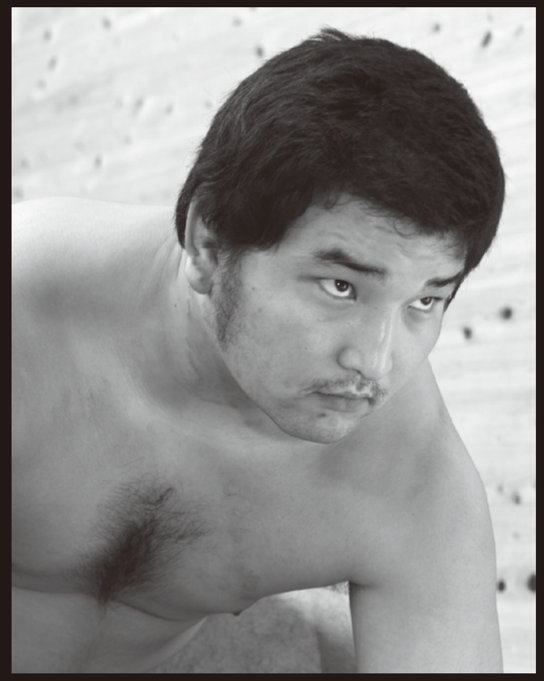
**こどもみらいセンター　☎62-1503**　★：対象未就園児の親子

◆開館時間9:15～17:00　◆休館日 月曜日、第3日曜日
**6日㈮10:30**　★子育て教室
**18日㈬15:30**　ニュースポーツ大会（小学生以上）
**20日㈮10:30**　★ぴよぴよタイム
**21日㈯10:00**　ごいた大会
**21日㈯11:30**　もちつき会
**27日㈮10:30**　★身体測定

**まつなみキッズセンター　☎72-0269**

◆開館時間10:00～18:00　◆休館日 日曜日、月曜日
**11日㈬15:00**　もみじミニお茶会
**13日㈮15:30**　ペン上手（硬筆学習）
**18日㈬15:00**　おやつ（カナッペ）作り　※松波公民館と合同開催
**21日㈯14:00**　読み聞かせボランティア「ひまわり」
**27日㈮15:30**　ペン上手（硬筆学習）
※5日・12日・19日・26日㈭10:00 児育て教室

# 第64回国民体育大会 トキめき新潟国体3位



**相撲競技　成年男子個人戦**
**成年男子団体戦**
**総合優勝（石川県）**

## 坂下 昭徳（26歳・恋路）

9月27日から29日にかけて、新潟県で行われた第64回国民体育大会相撲競技に石川県代表として出場した坂下昭徳さんが、成年男子個人戦・団体戦ともに3位という好成績を残した。石川県代表は、少年男子の成績を含めて、総合優勝に輝いた。
「県代表の勢いをもらって良いリズムで相撲が取れました」と大会を振り返る坂下さん。団体戦では7戦6勝、個人戦でも3位決定戦で昨年の※アマチュア横綱を破るなど快進撃を見せた。
次は12月6日に両国国技館で行われる全日本相撲選手権大会。「アマチュア横綱です。今年は体も良く動くので、その最大のチャンスがやってきたと思っています」と意気込みを語る。心・技・体充実の時を迎えた今、その最大の目標アマチュア最高峰に挑む。

※アマチュア横綱：全日本相撲選手権の優勝者がそう呼ばれる

※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

### 能登町スポーツ少年団指導者研修会

〈日時〉11月29日㈰8:30～12:00
〈場所〉内浦スポーツ研修センター
〈内容〉①AEDを用いた心肺蘇生法
②テーピングの仕方
〈申込期限〉11月20日㈮
問内浦体育館☎72-0200

## がんばりました（結果）

**第8回奥能登地区少年柔道大会（10/18）**
〈団体戦〉②雄志館A（尾形怜・川端・尾形結・岡野・山本）　③雄志館B（松井・岩谷・和田・出村・久田）
〈個人3年〉①尾形怜雅　②松井幹太　③山口海里
〈個人4年〉③川端優也
〈個人5年〉②尾形結熙
〈個人6年〉①山本達也
〈個人中学生〉①東手翔太　②新田優斗　③和田拓巳

**第5回能登町民ソフトテニス大会（10/18）**
〈ミックスの部〉①向平巧・吉延孝治　②坂尻春美・辻口由美子　③笠原春雄・中村真子　③川口翔太・平沼賢也

**第24回山田杯争奪ソフトテニス選手権大会（10/18）**
〈一般男子の部〉②道地亮太・下畠慎也　③高宮大介・坪根俊幸

**■鵜川中学校**
**富山ジュニアオープンソフトテニス大会（9/19）**
〈男子団体〉①
〈男子個人〉①大屋健一・清水寛生　③下畠雅大・仙福和弥
〈女子団体〉①
〈女子個人〉①橋本遥・中田依緒里　②山下藍里・道地佑李　③山本未来・石井明希　③井田真季・久山亜衣

**全能登新人ソフトテニス大会団体戦（10/3）**
〈女子団体〉①（橋本・中田、井田・道地・山下・久山、山本・石井）

**全能登新人ソフトテニス大会個人戦（10/10・11）**
〈男子〉②大屋健一・清水寛生
〈女子〉①橋本遥・中田依緒里　③山本未来・石井明希　③井田真季・道地佑李

# 女性がん検診は 11 月 30 日まで

11 月 30 日㈪まで、医療機関で女性がん検診を実施しています。
昨年度、検診を受けていない人は診療日を確認し、予約してから受診しましょう。

| | 子宮がん検診（20 歳以上） | 乳・甲状腺がん検診（40 歳以上） |
|---|---|---|
| 公立宇出津総合病院 | 月曜日の午前<br>（11 月 2、9、16、30 日） | 月～金曜日の午前 |
| 中沢産婦人科医院 | 月～金曜日の午前中 | × |

※料金：子宮がん検診　700 円　　乳・甲状腺がん検診　1,000 円　　問健康福祉課健康推進係　☎ 72-2504

# 新型インフルエンザワクチン接種について

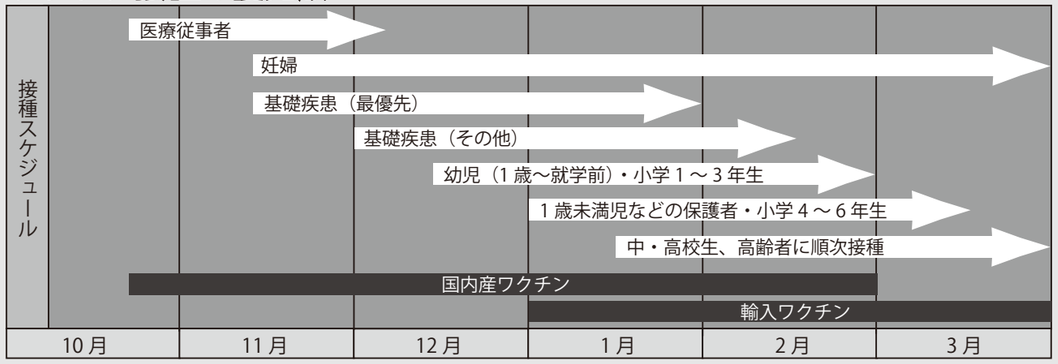
## ワクチン接種の対象は

新型インフルエンザは感染力は強いですが、多くの感染者は軽症のまま回復しています。ただし、基礎疾患（糖尿病、ぜん息など）を有する人や妊婦は、重症化する可能性があります。重症化する可能性のある人は、ワクチンを接種することで死亡、重症化の防止に一定の効果が期待されています。

## 接種する場所、費用は

**◇次の医療機関で接種できます。（要予約）**
公立宇出津総合病院、小木診療所、はしもとクリニック、柳田温泉病院、千間内科クリニック、升谷医院、生垣医院、直井医院、瑞穂診療所、持木メディカルクリニック
※主治医がいる場合は、あらかじめ相談してください。
**◇接種費用は実費です。**
**1 回目 3,600 円　2 回目 2,550 円（同一医療機関の場合）**
生活保護世帯、非課税世帯は費用を町で負担します。領収書と接種済証を添えて健康福祉課に申請してください。

## ワクチン接種の優先順




**新型インフルエンザに関する相談は、役場健康福祉課 健康推進係☎ 72-2504 まで**

# 能登北部医師会休日当番医（11 月）　9:00 ～ 12:00

**※都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。**

| 1 日㈰ | 3 日㈫ | 8 日㈰ | 15 日㈰ | 22 日㈰ | 23 日㈪ | 29 日㈰ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 小西医院<br>（珠洲市正院町）<br>☎ 82-8300 | 千間内科<br>クリニック<br>（能登町宇出津）<br>☎ 62-1001 | あいずみ<br>クリニック<br>（珠洲市飯田町）<br>☎ 82-0002 | 升谷医院<br>（能登町松波）<br>☎ 72-1151 | 大貫眼科医院<br>（珠洲市上戸町）<br>☎ 82-0017 | 持木メディカル<br>クリニック<br>（能登町宇出津）<br>☎ 62-1210 | 田中クリニック<br>（珠洲市野々江町）<br>☎ 82-0500 |
| 定梶医院<br>（輪島市門前町）<br>☎ 0768-45-1351 | 大和医院<br>（輪島市門前町）<br>☎ 0768-43-1323 | 舩木クリニック<br>（輪島市釜屋谷町）<br>☎ 0768-23-0866 | 粟倉医院<br>（輪島市町野町）<br>☎ 0768-32-0018 | 尾張内科<br>クリニック<br>（穴水町此木）<br>☎ 0768-52-1515 | 伊藤医院<br>（輪島市門前町）<br>☎ 0768-42-0262 | 宮下医院<br>（輪島市三井町）<br>☎ 0768-26-1311 |



## 1歳6カ月健診

〈日　時〉11 月 5 日㈭　〈受付時間〉13:00 ～ 13:20
〈場　所〉能都庁舎 1 階集会室
〈対象児〉平成 20 年 2 月 6 日～ 3 月 31 日生まれ
〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票
〈担当医〉小児科医師・歯科医師・歯科衛生士・保健師・栄養士・保育士

## 3歳児健診

〈日　時〉11 月 26 日㈭　〈受付時間〉13:10 ～ 13:30
〈場　所〉能都庁舎 4 階大集会場
〈対象児〉平成 18 年 7 月 23 日～ 9 月 8 日生まれ
〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、採尿容器
〈担当医〉小児科医師・歯科医師・歯科衛生士・保健師・栄養士・保育士

## 離乳食教室（離乳食バイキング）

**～ 3 回食から幼児食に向けて編～**
〈日　時〉11 月 13 日㈮　〈受付時間〉10:00 ～ 10:20
〈場　所〉こどもみらいセンター
〈持ち物〉母子健康手帳、エプロン、子ども用スプーン
〈担　当〉保健師・栄養士

## ポリオ生ワクチン投与

〈対　象〉生後 3 カ月から 90 カ月でポリオワクチンを 2 回投与していないお子さん
〈日　時〉11 月 17 日㈫　〈受付時間〉13:10 ～ 14:00
〈場　所〉能都庁舎 1 階集会室　〈担　当〉中沢医師
〈持ち物〉母子健康手帳、予診票（忘れた場合接種できません）

## 65歳以上の人の季節性インフルエンザ予防接種

〈接種期間〉11 月 2 日～ 12 月末（年末の医療機関終了日まで）
〈接種場所〉町内医療機関ほか（必ず事前に予約してください）
※今月配布のチラシに書いてある医療機関以外で接種する場合は健康福祉課まで連絡してください。
〈料　金〉1,500 円（生活保護世帯の人は無料です。接種前に健康福祉課まで申請してください。）
※詳しくは今月配布するチラシをご覧ください。

～いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう～

## 11 月 11 日は「介護の日」です

介護についての理解と認識を深め、介護サービス利用者とその家族、介護従事者などを支援し、これらの人たちを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するため制定された介護の日。皆さんもこの機会に、介護への理解と認識を深めてみませんか。

# 公立宇出津総合病院だより

☎ 62-1311
http://www.hospitalnet.jp/
診療情報は、病院ホームページで確認できます。

## ■みんなで救急医療を守ろう!

**・救急医療の現状**
通常の診療時間内でも受診できるのに「仕事を休めない」などの理由で、休日・夜間に救急病院を受診したり、緊急性がないのにタクシーの代わりのように救急車を呼ぶ人が増えています。またその逆に、救急車を呼ばなければならないのに、我慢して処置が遅れるという場合もあります。救急医療が必要な人が、迅速な医療を受けることができるよう、日ごろから適切な受診を心掛けるよう協力をお願いします。

**・こんな時はすぐに救急車を**
①呼び掛けても、肩をたたいても反応がない。（意識がない）
②けいれんが止まらない。
③呼吸がない、呼吸困難な状態。
④激しい痛み（頭痛、胸痛、腹痛など）がある。
⑤大量の出血、出血が止まらない。
⑥顔のゆがみ、腕や足が思うように動かない、舌のもつれがみられる。

※救急車を呼ぶ時は、落ち着いて住所や名前、症状など、消防署から聞かれることに簡潔に答えください。

## ■夜間小児救急電話相談「＃８０００」

夜間に急な病気や事故で具合の悪いとき、どのように対処すればよいか、電話で小児科医などがアドバイスします。
**【電話相談受付時間】**
18:00 ～ 23:00（365 日実施します）
**【電話番号】**
「#8000」または「076-238-0099」
※詳しくは…
石川県健康福祉部地域医療推進室　☎ 076-225-1449

## ■心臓血管外科外来の診療日が変更になりました

診療日　毎週火・木曜日（どちらも午前のみ）

| 11 月の診療日 | | | |
|---|---|---|---|
| 3 日㈫ | 清澤先生 | 5 日㈭ | 秋田主任教授 |
| 10 日㈫ | 清澤先生 | 12 日㈭ | 四方教授 |
| 17 日㈫ | 清澤先生 | 19 日㈭ | 休診 |
| 24 日㈫ | 清澤先生 | 26 日㈭ | 四方教授 |

## お知らせ

### 11 ～ 17 日は「税を考える週間」

**【小・中学生の「税についての作品展」】**
役場能都庁舎２階ロビー
〈日時〉11 月 11 日㈬～ 17 日㈫
能登空港ターミナルビル２階
〈日時〉11 月 19 日㈭～ 23 日㈪
**【無料税務相談会】**
〈日時〉11 月 15 日㈰
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 16:00
〈場所〉ワイプラザ（輪島市）
〈相談担当者〉北陸税理士会輪島支部
**【年末調整説明会（能登町対象）】**
〈日時〉11 月 20 日㈮ 10:00 ～ 12:00
〈場所〉能登空港ターミナルビル 41 会　　議室
問輪島税務署☎ 0768-22-2242

### 町のPTA 連合会による研究大会

〈日時〉11 月 15 日㈰ 8:45 ～ 12:00
〈場所〉松波中学校体育館
**【功労者表彰】**
感謝状授与など
**【松波中学校 PTA 実践発表】**
〈テーマ〉「親子のふれあいを深める活動を大切にする取り組み」
**【講演会】**
〈演題〉「共有～共に育つということ～」
〈講師〉今村克彦氏
（関西京都今村組最高顧問）
**PROFILE（いまむら・かつひこ）**
自らを「共有者」と名乗る。それが彼の一番の信念である。
2006年、「共有者」としてあるために24年間勤める安定した公務員「教師」を捨てた。彼の言う「教育」とは教え育てるものではなく、共に育ち合うものであり、このキーワードのもと、地域の人々をつなぐため、踊り講習・イベントや祭りなど、さまざまな行事を紡ぎ出すプロデューサーとして活動。
問能都中学校☎ 62-0163

### 「そこに行きたくなる音」大募集

奥能登の「そこに行きたくなる音」を募集します。豊かな自然や風土、祭りや太鼓などの文化、そのほか生活の音などがテーマです。
〈応募形態〉①スライドショー
②音声と静止画
〈応募締切〉第1 期：12 月末日
〈応募特典〉採用された人から抽選で 5 人にデジタルフォトフレームを進呈
※応募に関しての詳しい内容などは「うぇるかむ奥能登」ホームページ
http://www.okunoto-ishikawa.net/
問奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会事務局　☎ 0768-26-2303

### 11 月は労働保険適用促進月間

常用労働者を 1 人以上雇用する事業主は、すべての労働保険に加入しなければいけません。また 1 週間の所定労働時間が 20 時間以上のパート労働者も一定の条件を満たせば、雇用保険の適用対象となります。
まだ労働保険（雇用保険・労災保険）に加入していない事業主は、早急に加入の手続きを取ってください。
問輪島公共職業安定所能登出張所
☎ 62-1242

### 「労働時間適正化キャンペーン」

長時間労働抑制のため、平成 22 年 4 月 1 日から改正労働基準法が施行されます。
**労働時間相談ダイヤル（無料）**
**☎ 0120-794-713**

### 太陽光発電の買取制度が変わる

11 月から、太陽電池を使い家庭で作られた電力の余った部分を、国が設定したこれまでより高い価格で、10 年間電力会社に売ることができます。
買取りにかかった費用は、電気利用者全員（事業所・一般家庭）で負担する「全員参加型」の制度となっています。この制度により、日本の太陽光発電導入量を拡大し、エネルギー源の多様化に加え、温暖化対策や経済発展への大きな貢献が期待されています。
※制度開始当初は 1kw 時 48 円
問資源エネルギー庁太陽光発電買取制度室☎ 03-3501-1511

## 講座・講習

### 地域づくり支援講座は受講無料

石川県健康の森総合交流センターで、次の講座を開催します。受講は無料で予約も必要ありません。
**「七尾湾～もう一つの能登」**
〈日時〉11 月 6 日㈮ 18:20 ～ 19:50
〈講師〉森山奈美氏
（㈱御祓川・代表取締役）
**「里山の活用としてのマツタケ山づくり」**
〈日時〉11 月 20 日㈮ 18:20 ～ 19:50
〈講師〉吉村文彦氏
（マツタケ十字軍・代表）
問能登里山マイスター能登学舎
☎ 88-2568

### 福祉のしごと就職準備講習開催

福祉の仕事に就きたいけど自信がない、以前福祉の仕事をしていたけどブランクがあり再就職が不安という人のため、福祉の仕事に関わる知識と技術を確認するための講習会を開催します。参加は無料です。
**【パソコン講習】**
〈日時〉11 月 1 日㈰、15 日㈰
〈場所〉金沢勤労者プラザ
**【保育講習】**
〈日時〉11 月 27 日㈮
〈場所〉石川県社会福祉会館
**【介護技術講習】**
〈日時〉12 月 3 日㈭、4 日㈮
〈場所〉石川県立図書館
問県福祉人材センター
☎ 076-234-1151

### 求職者はぜひ聞いてみませんか

今までに体験してきた仕事の楽しみや苦労話を聞いてみませんか。
〈日時〉11 月 18 日㈬　14:00 ～ 16:00
〈場所〉国民宿舎能登やなぎだ荘
〈テーマ〉西を示す木をもて
～自分自身を見つめ直し信念を持った人生を取り戻そう～
〈講師〉松本孝一氏（月の友宇出津店長）
〈対象〉町内で働きたい人、就職して間もない人、町内企業主など
問町雇用創出連絡協議会 ☎ 62-4154

### 企業向け人材採用セミナー開催

中途採用の成功する秘訣をこのセミナーで探ってみましょう。
〈日時〉11 月 12 日㈭　14:00 ～ 16:00
〈場所〉能登町商工会２階
〈テーマ〉賃金、助成金、労働相談事例
〈講師〉小坂信孝氏（社会保険労務士）
〈対象〉企業主、企業の人事担当者、興味のある人
問町雇用創出連絡協議会 ☎ 62-4154

### 自然素材であんどんをつくろう

磯で集めた海藻などの自然素材を使って行灯（あんどん）を作ります。
〈日時〉11 月 14 日㈯ 13:30 ～ 15:30
〈場所〉のと海洋ふれあいセンター
〈定員〉20 人（小学校以下の人は保護者同伴でお願いします）
〈参加費〉無料（高校生以上は 200 円）
問のと海洋ふれあいセンター
☎ 74-1919

## 募集

### 陸上自衛隊の生徒を募集します

〈採用種目〉陸上自衛隊高等工科学校生徒
〈採用数〉約 250 人
〈応募資格〉平成 22 年 4 月 1 日現在で満 15 歳～満 17 歳未満の日本国籍を有する男子
〈応募期日〉平成 22 年 1 月 8 日㈮まで
〈試験日〉平成 22 年 1 月 23 日㈯
問自衛隊能登地域事務所
☎ 0768-52-4175
問町総務課　☎ 62-8510

## 相談

### 家庭教育やＤＶで悩んでいたら

**能登町なんでも相談「カナリア」**
**相談電話番号☎ 76-2874**
〈相談日時〉毎週火、木曜日
10:00 ～ 14:00
※祝日、年末年始、お盆時期は休みです。

### 能登法律相談センターの相談日

〈11 月〉5 日、12 日、19 日、26 日（木曜日）
〈時間〉13:45 ～ 16:15（要予約）
〈場所〉穴水町保健センター
〈申し込み〉相談日前日の午後 5 時までに電話で予約ください。
〈相談料〉30 分以内：5,000 円
問金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242

### 女性の人権問題の解決をはかる

夫・パートナーからの暴力やストーカーなどは、依然として数多く存在します。これらの女性をめぐるさまざまな人権問題の解決をはかるため、金沢地方法務局・石川県人権擁護委員連合会では、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を実施します。
〈期間〉11 月 15 日㈰～ 21 日㈯
〈時間〉8:30 ～ 19:00
※ 15 日、21 日は 10:00 ～ 17:00
〈相談担当者〉
法務局職員・人権擁護委員
**全国共通ナビダイヤル**
**☎ 0570-070-810**

### 職場のトラブル解決をサポート

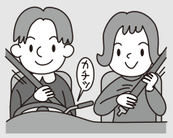
労働関係に関する事項で、個々の労働者と事業主との間の紛争について、「総合労働相談コーナーによる情報提供・相談」「労働局長による助言・指導」「紛争調整委員会によるあっせん」などの解決援助サービスを提供。労働者、事業主からの相談を受け付けます。
問 石川労働局企画室総合労働相談コーナー☎ 076-265-4421

### 心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎
9 日㈪、19 日㈭ 10:00 ～ 12:00
■笹ゆり荘
10 日㈫、24 日㈫ 10:00 ～ 12:00
■内浦福祉センター
10 日㈫ 13:30 ～ 15:30
■小木支所
20 日㈮ 13:30 ～ 15:30
問社会福祉協議会 ☎ 72-2322

## 交通死亡事故抑止
### 「アンダー 50 作戦」実施中！
**～過去最少の交通事故死者数を目指して～**

県内の年間交通事故死者数は、最少で昭和 31 年の 53 人です。
石川県警察では、過去最少を目指した「アンダー 50 作戦」などの各種交通死亡事故抑止対策を実施しています。
今年は 10 月 1 日現在で、県内の交通事故死者数は 38 人ですが、能登町では「ゼロ」です。
年末にかけて交通事故が多発するこの時期、次のことを守り町民一丸となって「交通事故死ゼロ」を続けていきましょう。
**○夕暮れ時の早めのライト点灯とトンネル内でのライト点灯**
**○シートベルトの全座席着用とチャイルドシートの正しい着用**



**○夜光反射材の有効活用（横断時に有効な側面貼付）**

～交通安全スローガン～
**知らせよう ここにいるよと 反射材**
問能登警察署☎ 62-1334

**11 月は…**
**児童虐待防止推進月間です**

**「守ろうよ 未来を見つめる 小さなひとみ」**

児童虐待は、人格形成期にある児童の心身に深刻な影響を及ぼし、最悪の場合は死に至る重大な問題です。

**○虐待と思ったら…すぐに通報してください。あなたの連絡が子どもを虐待から守ります。**
※連絡者の秘密は守られます。
問能登防犯協会☎ 62-1334

# のとネットTV ～11月の番組案内～

有線放送施設使用料
**今月の納期限 11月27日㈮**

| 時　分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5：00 | | | | | | | |
| 6：00 | みんないっしょにラジオ体操 | | | | | | |
| 6：35 | | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | のとほっとらいん（金・土） | |
| 7：00 | | | | | | | |
| 7：30 | 地域紹介番組・旅番組 | | | | | | |
| 8：00 | 農政番組 | | | | | | |
| 8：30 | 農林水産気象情報 | | | | | | |
| 9：00 | のびのびかんたんみんなで体操 | | | | | | |
| 9：30 | 馬番組 | | | | | | |
| 10：00 | | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | のとほっとらいん（金・土） | |
| 10：30 | | | | | | | |
| 12：00 | 畜産番組 | | | | | のとほっとらいん（金・土） | |
| 12：30 | | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | | |
| 13：00 | | | | | | 全国ｃａｔｖ北から南から | |
| 14：30 | | | | | | | |
| 15：00 | のびのびかんたんみんなで体操 | | | | | | |
| 16：30 | | | | | | | のとほっとらいん再放送（1週前） |
| 17：00 | | | | | | | |
| 17：30 | 農林水産気象情報 | | | | | | |
| 18：00 | | | | | | | |
| 18：30 | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | のとほっとらいん（金・土） | | のとほっとらいん再放送（1週前） |
| 19：00 | | | | | | | |
| 19：30 | | | | | | | |
| 20：30 | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | のとほっとらいん（金・土） | | のとほっとらいん再放送（1週前） |
| 21：00 | | | | | | | |
| 21：30 | | | | | | | |
| 22：30 | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | のとほっとらいん（金・土） | | のとほっとらいん再放送（1週前） |
| 23：00 | | | | | | | |
| 23：30 | | | | | | | |
| 00：30 | のとほっとらいん（月・火） | | のとほっとらいん（水・木） | | のとほっとらいん（金・土） | | のとほっとらいん再放送（1週前） |
| 1：00 | | | | | | | |
| 2：00 | 放　送　終　了（翌5：00まで） | | | | | | |

※ 空白の時間帯は文字放送が流れます

## 今月のみどころ（特集番組）

**～舞え！歌え！能登町民文化祭～**

11月7、8日に行われる第5回能登町民文化祭の模様を数回に分けて放送します。
※詳しい放送日程は、決まり次第「のとほっとらいん」でお知らせします。

## 特集番組の放送時間

議会放送や町内の祭りなどの特集番組は、ニュース「のとほっとらいん」に引き続き放送しています。放送時間は、その日の「のとほっとらいん」の放送内容などによって異なりますので、正確な放送時間や詳しい番組内容などを知りたい人は、広報情報推進課有線テレビ放送係までお問い合わせください。

問広報情報推進課　☎76-8301


有料広告

ラーメン450円より
12月からはじめます。
とんこつラーメン
興能信用金庫　内浦庁舎
浜っ子らーめん助松
能登町松波10-59　☎0768(72)0911

有料広告

スピード給付の県民共済

こども型　総合保障型
熟年型　新型火災共済
お問い合わせと資料のご請求は　共済取扱団体 石川県認可　石川県民共済生活協同組合
0120-63-5011　☎076(263)5011(代) FAX076(263)5107
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
ホームページ http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/　携帯電話からはこちらへ▶http://kyo-sai.jp/


広報のとは、有料広告スペースを設けて広告を募集しています。掲載を希望する場合は、広報情報推進課（☎76-8301）までご連絡ください。



## こせきのまど　9/15～10/14

個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。

## うぶごえ

・・・・すこやかにすくすくと

| 出生児 | 両親の名前 | 住所 |
|---|---|---|
| 和田彩佳（あやか） | 行弘・ゆう子 | 松波 |
| 廣瀬朋己（ともき） | 巌彦・陽子 | 小木 |
| 小川秋莞（あきい） | 清一・勝枝 | 宇出津 |
| 山岸夕彩（ゆあ） | 貴征・紀代美 | 曽又 |
| 谷口凱弥（ときや） | 弘司・恵 | 小木 |

## 高砂や

・・・・いつまでもお幸せに

| 氏名 | 本籍 | 住所 |
|---|---|---|
| 中村　圭 | かほく市 | 津幡町 |
| 坂本典子 | 崎山 | |
| 道下あきら | 藤ノ瀬 | 宇出津 |
| 竹田裕美 | 宇出津 | |
| 櫻井崇成 | 姫 | 愛知県 |
| 武仲由佳 | 愛知県 | |
| 寺川　勇 | 明生 | 松波 |
| 大塚和美 | 小木 | |
| 藤本貴光 | 山口県 | 金沢市 |
| 山下ゆかり | 河ケ谷 | |
| 青木晃淳 | 波並 | 波並 |
| 尾崎千紘 | 京都府 | |
| 坂口貴紀 | 小木 | 小木 |
| 殿田育代 | 松波 | |
| 横瀬明仁 | 兵庫県 | 東京都 |
| 眞脇宏美 | 宇出津 | |

## おくやみ

・・・・ご冥福をお祈りします

| 氏名 | 年齢 | 住所 |
|---|---|---|
| 酒屋誠一 | 86歳 | 宇出津 |
| 道上サチ子 | 75歳 | 当目 |
| 川口ツタ | 97歳 | 崎山 |
| 平沼ハルノ | 89歳 | 清真 |
| 紙谷そぎ | 85歳 | 五郎左エ門分 |
| 時山正章 | 56歳 | 時長 |
| 中谷礼子 | 72歳 | 国重 |
| 瀧脇ふつ | 95歳 | 九里川尻 |
| 守　豊市 | 97歳 | 布浦 |
| 北又彦治 | 89歳 | 神和住 |
| 濱出イク子 | 73歳 | 藤波 |
| 南代すみ | 84歳 | 宇出津 |
| 川岸ヒサ | 90歳 | 崎山 |
| 坂下喜久次 | 81歳 | 宮犬 |
| 桑名ふじ | 94歳 | 小木 |
| 池田栄吉 | 79歳 | 柳田 |
| 大庭　弘 | 85歳 | 笹川 |
| 家口ヤス子 | 80歳 | 合鹿 |
| 堂前吉次郎 | 81歳 | 姫 |
| 寅松　清 | 85歳 | 小木 |
| 蟹　咲子 | 74歳 | 越坂 |
| 髙　ちゑ | 87歳 | 越坂 |

## 寄付御礼

橘唄う会　代表　浜中希久子
樹脂ベンチ　1脚

**能登町へ**

田中さとみさん（珠洲市）10万円
平成21年度まほろば成人式一同　6万2634円
藪下義弘さん（姫）10万円
道上吉野里さん（当目）10万円
酒屋利信さん（宇出津）10万円
宇出津地区婦人会　1万円
畝村義夫さん（柳田）10万円
橘唄う会　7万3784円
堂前吉則さん（姫）3万円
桑名梅雄さん（小木）10万円

**以上、能登町社会福祉協議会へ**

### ふるさと納税寄附者

久田秀雄さん（東京都）

## 編集後記

子どもたちが将来なりたい職業で、常に上位にランクされるパイロット。格好いいイメージの裏には、健康な身体、強じんな精神、高度な専門知識が要求される厳しい職業でもある。大場さんも谷内さんも、決してあきらめずに努力で夢をつかんだことは同じだ。

能登町出身のパイロットはもう一人。能登空港一番機の機長、宇出津出身の濱田善明さんだ。現在は機長の業務をこなしながら、若手パイロットの養成に多忙な毎日だという。残念ながら今回取材はできなかったが、機会があれば濱田機長の物語も伺ってみたい。政

**◉人口・世帯数** 平成21年10月1日現在

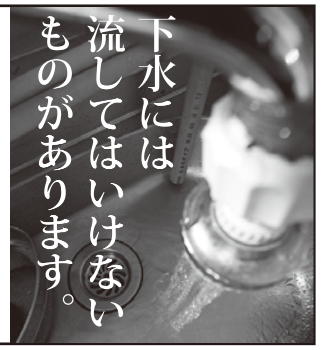
| | | （前月比） |
|---|---|---|
| 人口(人) | 21,551 | －23 |
| 男 | 10,141 | －7 |
| 女 | 11,410 | －16 |
| 世帯数(戸) | 8,085 | －5 |

| | |
|---|---|
| 外国人登録者(人) | 245 |
| 男 | 134 |
| 女 | 111 |

### ごみの出し方

**紙類は資源です。その他紙の日に**

雑誌やチラシのほかに、包装紙、紙袋、紙箱（ティッシュやお菓子の箱）も対象です。※フィルムなどははずしてください。　問環境対策課☎62-8507





最近、予想外の流入物が下水施設の故障の原因となっています。皆さんのご家庭で次のような物を排水溝に流していませんか。

**■トイレでは…**水に溶けないティッシュや紙おむつなど

**■台所では…**食べ残しや食用油など

**■ふろ場では…**髪の毛など

内容を確認して、下水に流さないようご注意をお願いします。

※使った油はふき取る、排水溝にはメザラをつけるなど工夫をしましょう。

**※下水道未接続の人は、ぜひ接続してください。**

問下水道課☎72―2507

## 自助
（自分を守る）

①地域住民や地元高校生などが参加したバケツリレー消火訓練。一丸となってバケツを運び火を消した。
②地震体験車コーナーでは、地震の揺れを体感できた。
③消火器を使った初期消火訓練。火元を扱うことが多い女性が訓練に参加していた。

④中高層ビルからの救出を想定した訓練。消防署員が手際よくはしごを使って救出した。
⑤車両多重事故救出訓練では、車体を切断して運転手を救出。
⑥医療救護所となったエアテント内では、宇出津病院医療チームが次々と運ばれる患者に応急手当をして救急隊に引き渡した。

## 公助
（命を守る）

⑦訓練を締めくくった消防団の一斉放水。16分団がそれぞれ火消しの心意気を見せた。
⑧水防訓練では、消防団員と役場職員が土のうを作って積み上げる訓練を行った。

## 協助
（地域を守る）

【写真】海保ヘリによる防波堤の孤立者救助訓練

# その時——

0・01%の確率でも
能登半島地震は発生した。
災害は、いつか必ず起こるもの
その時——
大切な命を守るために
被害を最小限にするために
あの教訓を忘れることなく
常に「心の防災」を——。

PhotoReport
**第2回能登町防災総合訓練**

### 大地震と大雨洪水を想定 訓練に千人が参加

平成19年3月25日、午前9時41分58秒に発生した能登半島地震から2年7カ月。2回目となる大規模防災訓練「第2回能登町防災総合訓練」が10月18日、宇出津新港で実施された。

訓練には、県、警察、消防などの関係機関のほか、消防団、女性防火クラブや地域住民など約千人が参加し、災害時の備えや対応について確認した。

『午前7時ごろから局地的な大雨、午前9時には能登半島沖を震源とする震度6強の地震が発生。沿岸には津波警報が発令された』

午前8時30分、町長は災害対策本部を設置し、関係機関に出動を要請。現地対策本部が設置された宇出津新港では、関係機関からの被害状況や訓練経過が次々と報告された。

### 「忘災」にしてはいけない教訓

防災対策で最も大切なことは、災害の記憶を風化させないこと。わたしたちは、能登半島地震の教訓を決して「忘災」にしてはいけない。

大規模災害の発生を防ぐことはできなくても、被害を最小限にとどめることはできる。日ごろから高い防災意識を継続することが大切だ。